ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/12/10 号（As of 2024/12/09）

金融市場部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	149.86 AUD/USD
TKY 9:00AM	149.89	1.0566	158.10	1.2746	0.6399
SYD-NY High	151.35	1.0594	159.99	1.2799	0.6471
SYD-NY Low	149.70	1.0533	157.94	1.2718	0.6380
NY 5:00 PM	151.23	1.0554	159.57	1.2723	0.6441

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	44,401.93	▲ 240.59	日本2年債	0.5700%	▲0.0200%
NASDAQ	19,736.69	▲ 123.08	日本10年債	1.0400%	▲0.0100%
S&P	6,052.85	▲ 37.42	米国2年債	4.1265%	0.0309%
日経平均	39,160.50	69.33	米国5年債	4.0749%	0.0436%
TOPIX	2,734.56	7.34	米国10年債	4.2002%	0.0521%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,315.00	▲ 35.00	独10年債	2.1175%	0.0050%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,352.08	43.47	英10年債	4.2705%	▲0.0050%
DAX	20,345.96	▲ 38.65	豪10年債	4.2190%	▲0.0280%
ﾊﾝｾﾝ指数	20,414.09	548.24	USDJPY 1M Vol	10.86%	▲0.06%
上海総合	3,402.53	▲ 1.54	USDJPY 3M Vol	10.85%	▲0.11%
NY金	2,685.80	26.20	USDJPY 6M Vol	10.38%	▲0.19%
WTI	68.37	1.17	USDJPY 1M 25RR	▲1.37%	Yen Call Over
CRB指数	289.06	2.72	EURJPY 3M Vol	10.70%	▲0.16%
ドルインデックス	106.15	0.09	EURJPY 6M Vol	10.34%	▲0.26%

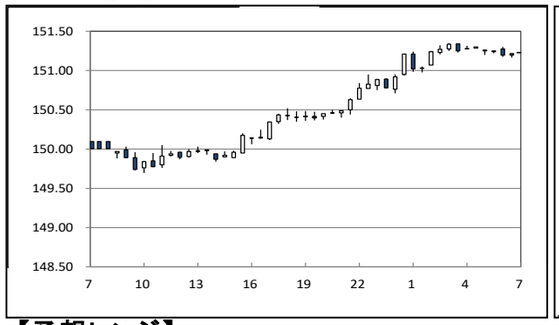
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
12月9日	08:50	日	GDP(季調済/前期比)・確報	3Q	0.3%	0.3%
	08:50	日	GDP(年率/季調済/前期比)・確報	3Q	1.2%	1.0%
	08:50	日	GDPﾃﾞﾌﾚｰﾀｰ(前年比)・確報	3Q	2.4%	2.5%
	10:30	中	PPI/CPI（前年比）	11月	-2.5%/0.2%	-2.8%/0.4%

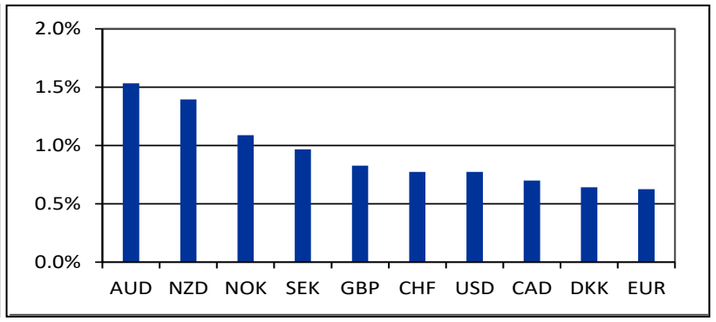
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
12月10日	09:30	豪	NAB企業信頼感	11月	-	5
	09:30	豪	NAB企業景況感	11月	-	7
	12:06	中	輸入/輸出(前年比)	11月	0.9%/8.7%	-2.3%/12.7%
	12:06	中	貿易収支	11月	$93.50b	$95.72b
	12:30	豪	RBAｷｬｯｼｭﾚｰﾄ	10-Dec	4.35%	4.35%
	16:00	独	CPI(前年比/前月比)・確報	11月	2.2%/-0.2%	2.2%/-0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-152.00	1.0490-1.0590	158.30-161.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は149.89ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。先週末の米雇用統計を通過し、12月米利下げ観測が高まった一方、日銀金融政策決定会合の利上げ観測が後退し、150円ちょうど付近でもみ合い。動意に欠ける展開が続き、150.18ﾚﾍﾞﾙでﾛﾝﾄﾞﾝに渡った。
ロンドン	中国共産党指導部は本日、2025年に「やや緩和的な」金融政策と、ここ数年で最も直接的な刺激策を示唆した。このため、本日のﾛﾝﾄﾞﾝ市場はﾘｽｸｵﾝの取引となった。ﾄﾞﾙ円は、市場がﾘｽｸｵﾌの円買いのﾎﾟｼﾞｼｮﾝを巻き戻したため、上昇した。150.18で始まり、高値150.84まで取引された後、150.77ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙはﾚﾝｼﾞ内での動きとなった。1.0541で寄り付いた。12月のﾕｰﾛ圏Sentix投資家信頼感指数 (09:30 GMT) は-17.5と、予想の-12.3を下回ったが市場への影響は限定的であった。1.0566ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は150円台前半でｽﾀｰﾄ。石破首相が日銀と政府による共同声明の見直しを巡り否定的な姿勢を示した事に加え、米金利の上昇も相まってﾄﾞﾙ円は底堅く推移し、150.77ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は米11月NY連銀1年先のｲﾝﾌﾚ期待が予想を上回った事を背景に、米金利が上昇幅を拡大する動きに伴った買いが続き、151.20付近まで上昇。午後もﾄﾞﾙ高の展開が続き、151.35まで上値を伸ばす。その後は小幅反落し、151.23ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.05台半ばでｽﾀｰﾄ。1.0533まで下落する場面もあったが、その後に独金利の上昇を横目に買い戻され、1.0586まで反発。しかし、続いて発表されたﾕｰﾛ圏12月ｾﾝﾃｨｯｸｽ投資家信頼感指数が予想を下回った事を受け伸び悩み、1.0566ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は1.0594まで上値を伸ばす場面もあったが、米金利の上昇が上値を抑え、1.0570近辺まで反落。午後はﾄﾞﾙ買い地合いが一段の重しとなり、1.0548まで値を下げる。その後は下げ渋り、1.0554ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は堅調に推移。中国が来年度の金融政策を緩和方向へ転換するとの発表によるリスクオンの円売りや米金利上昇に連れられたドル買いにより、149円台後半から151円台まで一気に上昇した。本日のドル円は151円台で方向感なく推移すると予想。昨日の急伸の反動から上値は重いと考えられるが、5・10日（ごとおび）のドル買いフローは意識しておきたい。併せて、来年1月に氷見野日銀副総裁が横浜での金融経済懇談会に出席することが発表された。翌週に金融政策決定会合を控える中では異例のタイミングであり、12月会合での利上げ観測が後退、1月会合における利上げの見方が高まっている。もっとも、明日の米11月CPIを控えて様子見ムードに変化はないと思われ、ボラティリティは低いとみる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：山田・武藤